
2024年度事業計画

(2024年4月1日～2025年3月31日)

概 況

昨年度は5月に新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、今般の「コロナ禍」は一旦終息したと言えます。このような中において本会も、以前のような事業運営へと戻りつつあります。この4年間で社会環境もそれ以前とは大きく変化し、人々の趣味や趣向等も様変わりしましたが、フラワーデザインの普及活動がメインの本会にとって、そうした新しい社会環境下で、どのように豊かで楽しく、安心、安全な活動ができるかを念頭に、改めて計画を進めていきます。

本会は創立以来、フラワーデザインの普及、技術の向上、国際交流等を精力的に行ってきました。活動は半世紀を超え、人々の生活に少しずつ浸透してきています。ますます豊かな生活に寄与すべく、日本の文化、学術、芸術の発展のため、有益な事業を推進してまいります。

全国の盲学校等支援施設に通う方々に花に触れていただく「花の宅配便事業」は11年目となり、好評を得ながら事業として定着してきました。

修了証（ディプロマ）事業は現在6つのコースが開かれており、基礎から応用、発展をも包含した、幅広い内容を網羅しており、各コースのインストラクターにより、全国の一般の方々にもフラワーデザインに親しんでいただくコースとして、フラワーデザインのますますの普及に期待が寄せられています。

20回目を迎える「NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト」については、しばらくフォト形式のコンテストが続いていたものの、節目にふさわしく実際の作品を制作、展示する形で5年ぶりに開催します。

2027年には横浜で、1990年大阪花の万博以来となるA1クラスの国際園芸博覧会「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」が開催されることとなりました。「幸せを創る明日の風景」というテーマのもと、SDGsの達成に貢献しその先の社会も見据えた日本モデルの提示を意義とするこの一大イベントに協会も参加することとなり、現在計画を進めています。自然との調和を図り、日本の花き文化の振興を目的とする本会としましても、2027年に繋がっていくような事業を企画し、盛り上げていくよう努めます。

今後も引き続き、持続可能な未来へ向かう社会の形成とともに、人々の心がより豊かになるためのお手伝いができるよう、さまざまな事業に取り組んでまいります。

理事長 西村 好正

各部・委員会計画

部会

総務部（花の図書委員会を含む）

2025年度より、NFD講師・本部講師資格を更新しやすくするため、更新に必要な条件を緩和することが決まったことを受け、諸規程を整備していく一方で、さまざまな法改正や社会状況の変化に伴い、協会運営に必要な規程の精査、必要に応じて改正案の検討を行います。

他団体からの後援等の申請、賞交付申請、審査員派遣申請に関する審査や、協会ロゴ入りオリジナル名刺受注、無料職業紹介事業も継続します。

来年1月には再び賀詞交換会を予定しています。より多くの皆さまにお楽しみいただけるよう楽しいイベントを企画します。

花の図書委員会では、会報誌「フラワーデザイナー」の“本の虫”での蔵書紹介を行い、ホームページにて蔵書一覧やサービス概要の紹介を行います。また、宅配便による貸出、寄贈受付、花ファッションハウスでの閲覧サービスは継続しても実施していきます。また、選書方針に基づいた新しい蔵書を所蔵していく予定です。もし、「こんな本が読みたい」等リクエストがありましたらぜひご連絡ください。

財務部（助成運営委員会を含む）

役員へ定期的に予算執行状況の報告を行うとともに、その報告が協会運営に生かされているかを適宜見直し改善をしていきます。

助成事業「NFD one leaf fund」は目的や効果、事業の継続について見直し中のため募集を休止しています。

会員組織部

今年度の「支部報告会」には、会員の皆さまと直接触れ合い交流を深めるとともに、支部の現状把握、支部運営の更なる活性化を図る目的を持ち、全支部に役員が出向します。

8月から9月には、「ブロック別支部委員研修会」を行い、各支部が直面しているさまざまな問題を支部とともに検討していきます。

平成23年度を最後に中断していた国民文化祭ですが、改めてその趣旨に賛同し、本会のフラワーデザインを広く知っていただくために、今年度の岐阜県より再び参加してまいります。

10月26日から28日の3日間、佐賀県にて「第23回全国障害者スポーツ大会」が開催されます。昨年同様、効果的な告知を行い活動の輪を広げていきます。今回も近隣の農業高校に声掛けを行う予定です。

公認校施策としては、支援事業の大きな柱として「SNS」への取り組みを応援する事業を行います。今の時代に沿った情報発信の仕方を協会全体の取り組みに合わせ、公認校の協力を得ながら実践していきます。

1月には「令和6年度 公認校主宰者研修会」を予定しています。公認校活動が活発化するような施策を共に模索しながら、前回のような熱のこもった会となるよう、準備を進めていきます。

公認校応援事業である「花とともにプロジェクト」も、引き続き情操教育として地域社会に貢献できるよう継続事業として行います。

資格検定部

本部主催のフラワーデザイナー資格検定試験は、全国9会場で合計19回の実施予定です。4月に実施した「フラワー装飾技能検定試験1級対応講習会」のほかに、実習なしで指導ポイントを学べる「資格検定試験テーマ レクチャー&デモ」、資格検定試験の級ごとのテーマをレクチャーと実習で身に付ける「指導者育成ゼミ」、資格検定試験の1級から3級全ての出題テーマの審査方法・審査ポイントを学ぶ「資格検定試験・審査研修会」、試験テーマをより深く掘り下げる「構成理論」、各種修了証コースの「インストラクター講習会」、「NFD講師新規登録選考会」、「NFD講師登録証授与式」、新たに資格検定試験普及講師による「ハイクオリティーレッスンツアー」を実施予定です。

また、今年度より、「資格検定試験普及講師登録選考会」を2年毎に実施する予定です。本部資格検定試験の正しい技術の普及と向上を図るために活躍していただける方のご応募をお待ちしています。

NFD講師新規登録選考会はNFD講師として一定のレベルに達していないと判断された場合は後日再度の参加が必須となりますので、1級取得後も継続的な研鑽を積み、事前に十分に選考会内容を確認の上、選考会に臨んでいただきますようお願いします。また、指導される講師の方々にも常に最新の指導ができるよう、積極的に講習会への参加をお願いします。

事業部

今年度は内部講師による講習会に加え、新たな外国人講師による本部事業を企画中です。

昨年度、大好評だったウルズラ・ヴェゲナー氏によるセミナーも引き続き東京で開催します。

今回で第20回を迎える「NFD全国高校生フラワーデザインコンテスト」。節目にふさわしく、数年ぶりに作品展示による開催を予定しています。

また「日本フラワーデザイン大賞」は2025年秋ごろの開催を目指して、検討を進めています。

広報部

第2回定例理事会で決定された2025年度からの会報誌のデジタル化に伴い、その方針について会員の皆さまにご理解いただけるよう、告知していきます。また、よりデジタルにあった企画を検討し、それを楽しんでいただけるよう、より良い形で届けられるよう準備していきます。

カレンダーにおいては、花ファッションデザインチームと連携したトレンドデザインのカレンダーを製作。本会のトレンド作品をより一般に向けて発信していくことと製作費の予算をスリム化。広報活動に幅広く利用する予定です。

また、その他の広報ツール等の製作においても最小限に抑え、広告についてもデジタルに一本化していきます。

委員会

国際交流委員会

2024年5月に中国・北京で、中国在住の本会会員に向けて本部事業を実施し、会員満足度の向上を図るとともに、文化交流事業として在中国日本国大使館の協力のもと、現地的一般の方々に対しての体験レッスンを行い、本会の認知度向上を目指します。

また、台湾花芸家協会との交流については、「台湾花芸家協会総大会」、「FマークNFD講師新規登録研修会」、「Fマークフラワーデザイナー資格検定試験」への出向を予定しており、継続的かつ友好的に進めていきます。

さらに、海外在住のフラワーデザイナーを対象とし、NFDラボラトリースタイルのレクチャー&デモ及び実習、さらには資格検定試験を受験するための講習会を実施する予定です。

花とともに委員会

「花の宅配便事業」は、11年目を迎え、例年実施している学校では、子どもたちの情操教育において大切な活動として認識され、年間行事として定着してきました。今年度も全国30校での実施を予定しています。年々上達する生徒が増え、また、ボランティア講師との絆が生まれたりと、回数を重ねるごとに新鮮な発見に出合える場となっています。

「卒業生応援プロジェクト」は一旦休止とし、被災地支援等、本会の社会貢献活動の在り方を改めて模索、検討します。

「NFD花の日」では、想いを託した花を届ける喜び、受け取る喜びを多くの方に感じていただけるように、分かりやすく、活動していただきやすい環境づくりの検討を重ねます。また、活動内容等を紹介して広報活動に努めます。

「ビクトリーブーケ贈呈事業」も継続し、フラワーデザインを通してパラスポーツをサポートしていきます。

以上の他、フラワーデザインを通じて人々の心を豊かにできる社会貢献を活発に行う予定です。

資格検定試験基準改正委員会

令和5年度公認校主宰者研修会にて発表した「フラワーデザイナー資格検定試験推奨花材および代替花材参考リスト」は今後、本部試験支給花材や試験関連講習会において活用し、公認校のみならず講師に向けても周知できるよう資格検定部と連携を取りながら進めていくこととしています。また、昨年度の課題を十分に検証し、会員や関係各所の声を聞きながら、より良い試験運営がなされることで、受験者指導の活性化及び受験者の増加につながるよう検討を進めていきます。

技術委員会

花ファッショントレンド2024のテーマは「共生 ～花とともにある幸せ～」。キーワードは「色を楽しむ」、トレンドカラーは春夏「パールトーン」、秋冬「ダルトーン」。

「シーズナルレッスン」はクリスマス、スプリングに加えサマーを実施予定です。

広報部と連携している会報誌「フラワーデザイナー」誌上の「Flower Styling」では引き続き花ファッションと住空間のコラボレーションを提案していきます。

また、前期に引き続き「NFDラボラトリー講習会」を実施、季節の花材でテーマに沿って幅広い表現方法を教授します。

デジタルPR委員会

NFDが実施する事業の告知や報告をまとめ、NFD公式SNS (Facebook、Instagram、X) でタイムリーかつ持続的な情報配信を推進していきます。特に、デジタルを活用した広報活動により、主催事業の盛り上げ企画や各種キャンペーンを展開し、NFDの認知向上や集客強化を図ります。さらに、広範なSNSユーザーに対し、フラワーデザインとその関連情報を提供します。

また、協会としてのSNS活用方針を明確にし、利用者への注意喚起と協会の利益や信頼を守り、SNSを効果的に活用するためのポリシーやガイドラインを策定し、協会内外に周知徹底する取り組みを行っていきます。

コンプライアンス委員会

定期的な委員会開催や監事との連携等により協会のコンプライアンス状況を把握して、内部統制の根幹をなすコンプライアンス体制の更なる改善やガバナンスの強化を図り、公正かつ適正な協会運営や社会的信用の維持・向上に努めます。また、そうした組織風土の醸成のため、必要な役員・職員へのコンプライアンス研修を実施します。